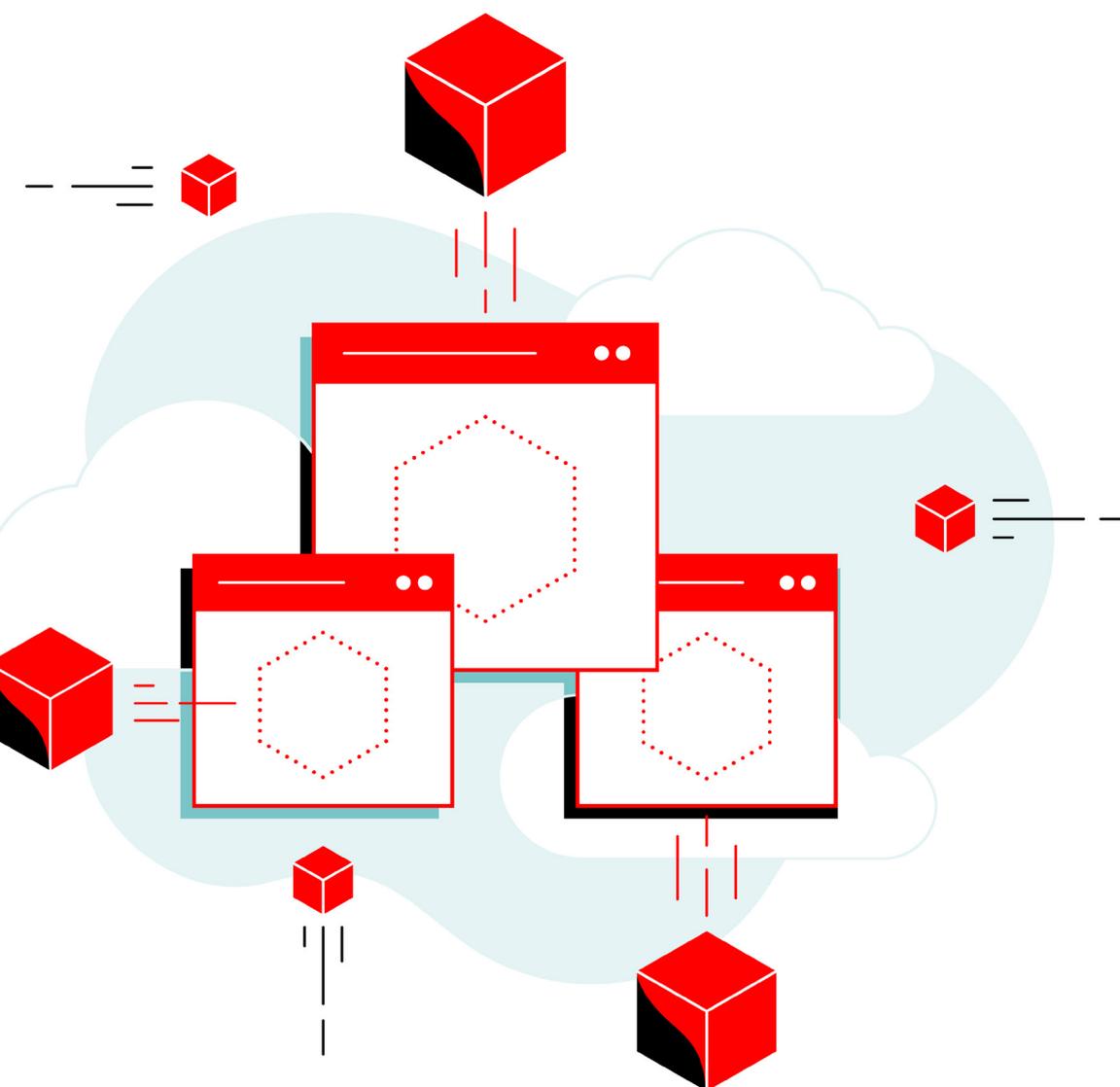


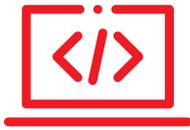


# Red Hat サービス・ ジャーニー： Container Adoption



# 激しい競争に立ち向かう

クラウドネイティブ開発への移行に取り組む企業は、ソフトウェア開発へのアプローチを変える必要性に気付きます。



そのような企業に必要なものは、マイクロサービス・アーキテクチャ、ワークフローとパイプラインの自動化、オープン・ハイブリッドクラウド・プラットフォーム、そして顧客のニーズを効果的にサポートしてセルフサービス機能を提供することに重点を置いたチーム組織を組み合わせたソリューションです。

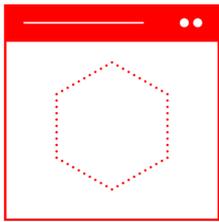
コンテナ・プラットフォームは企業向けソフトウェアの中でも急成長しているカテゴリーで、パワフルなテクノロジーによってアプリケーションの開発と提供を加速させます。コンテナは、開発者が一貫したデプロイメントのためにアプリケーションをパッケージ化するのに役立つだけでなく、開発チームと運用チームをつなぐフレームワークと共通言語を提供します。

コンテナは、複数のテクノロジー環境で共通の運用モデルを適用したり、パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウドなどの異なる環境やインフラストラクチャ間でアプリケーションの可搬性を実現する役割を担います。このため、クラウドネイティブ・アプリケーションにはコンテナが欠かせません。DevOps とクラウドテクノロジーを組み合わせる Red Hat® のアプローチは、組織がクラウドシステムの潜在力を引き出し、市場の需要にスピーディに対応していくための効果的な戦略として、結果を出してきました。



# 86%

クラウドネイティブ開発戦略が自身の企業の成功にとって**極めて重要**、または**とても重要**であると考える回答者の割合。



## コンテナ導入への道のり

ビジネスにプラスの影響をもたらしてくれるコンテナ技術ですが、コンテナ導入までの道のりは必ずしも平坦ではありません。

コンテナのメリットを最大限に享受するには、以下の 3 点を段階的に提供する柔軟なプログラムが必要です。

### インフラストラクチャ

効率的なデプロイ体制と  
ツールを備えた最新のコンテナ  
ベース・インフラストラクチャ

### アプローチ

左記のインフラに  
アプリケーションを導入する  
ための適切なアプローチ

### 姿勢

ビジネスと IT ステーク  
ホルダーの継続的な連携を  
促す組織としての姿勢



プログラムをアジャイル方式で段階的に構築していく間、Red Hat サービスはコンテナに携わるチームの調整から、組織内におけるコンテナ使用の拡大、そして最終的には使用規模の自律的な成長を促す基盤作りまで、コンテナ導入のすべての段階でお客様をサポートします。

### 成功を支える

Red Hat では、世界中のお客様やパートナーとコラボレーティブな協力関係を築くことでお客様の成功を支援し、お客様が必要とするときに必要なサポートを提供できるよう注力しています。

### 専門知識による強化

Red Hat のエンゲージメント・アプローチでは、お客様が機能を強化し、新たな機能や計画に備えるために役立つ専門知識を提供します。

### 点と点を結ぶ

Red Hat は、先進テクノロジーを取り巻くさまざまな要素をつなぎ合わせます。アーキテクチャからトレーニングまで、お客様が IT の課題を乗り越えるために必要なテクノロジー、人、手法を組み合わせます。



## Red Hat サービスの強み

Red Hat サービスは、アプリケーション提供プロセスのモダナイゼーションと効率化に必要な高度なコンテナ・プラットフォームのアプローチ、トレーニング、プロフェッショナルサービス、変革管理、およびサポートを提供します。

これらのソリューションは、組織がコンテナ、マイクロサービス、DevOps を迅速にアプリケーション開発ライフサイクルと運用体制に組み込めるよう助けるものです。

多くのお客様が Red Hat のソリューションで以下のような成果を得ています。



**10 倍** の並行プロセス量

オートスケーリングによりシステムの応答性が向上し、10 倍以上の並行プロセス量をサポート。<sup>2</sup>



**53%** の時間削減

新サービス向け IT インフラストラクチャの構築時間を 53% 短縮。<sup>2</sup>



**40%** のダウンタイム低減

ダウンタイムの 40% 低減とオンボーディングの迅速化により、カスタマーエクスペリエンスが向上。<sup>3</sup>



**1,200%** 増

応答性の高いスケーラビリティを獲得し、1,200% 増のトランザクション量に対応。<sup>4</sup>



**50%** 増

開発者の生産性が 50% 以上向上。<sup>5</sup>



**118** リリース

リリースのデプロイ頻度を 2 週間に 1 回から 2 週間に 118 回へと増加。<sup>6</sup>

「[Red Hat コンサルティングの] トレーニングにより、当社の開発者はコンテナ・プラットフォーム・テクノロジーに関する知識とスキルを迅速に習得できました。その結果、3 カ月でサイトアプリケーションの最初のバージョンをローンチすることができました。これほど迅速にプラットフォームを立ち上げられたのは初めてです」<sup>7</sup>

UPS シニアアプリケーション開発マネージャー Stacie Morgan 氏

<sup>2</sup> Red Hat 導入事例、「[Lotte Card, Red Hat でクラウドベースの顧客サービスシステムを構築](#)」、2020 年。

<sup>3</sup> Red Hat 導入事例、「[Banco Galicia, Red Hat OpenShift でデジタルバンキング・プラットフォームを構築](#)」、2019 年 5 月。

<sup>4</sup> Red Hat 導入事例、「[アルゼンチン保健省, Red Hat で全国的なデジタルデータ・ネットワークを構築](#)」、2020 年 4 月。

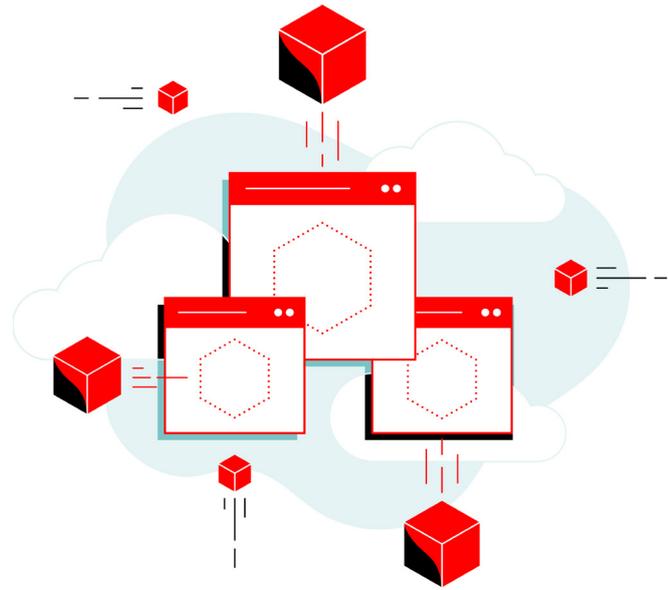
<sup>5</sup> Red Hat 導入事例、「[マッコリー銀行, Red Hat OpenShift によりデジタルバンキングを変革](#)」、2017 年 5 月。

<sup>6</sup> Red Hat 導入事例、「[日本の通信事業者が Red Hat で DevOps と Kubernetes を導入](#)」、2020 年 7 月。

<sup>7</sup> Red Hat 導入事例、「[UPS, Red Hat 製品で荷物の追跡と配送を効率化](#)」、2020 年 11 月にアクセス。

# コンテナ導入までの 包括的な道のり

Red Hat サービス・ジャーニー：Container Adoption は、ビジネスの連携性強化、アプリケーション開発、リリースエンジニアリング、およびインフラストラクチャの 4 つのワークストリームに対応する包括的なプログラムで、個別のコンテナ実験をより大規模なコンテナ導入へと展開させると同時に、IT チームとプロセスを変革します。



## 導入の過程を定義する



### ビジネスの連携性強化

企業全体の変革を加速するために、アプローチ、コミュニケーション、コラボレーションの方法を変える



### アプリケーション開発

市場のニーズに迅速に対応できるように、設計を強化する。



### リリースエンジニアリング

反復可能なプロセスにより、強化されたプラットフォームに新しいアプリケーションを導入する



### インフラストラクチャ

実用最小限のコンテナプラットフォーム上で、実務に準じた本番ワークロードを実行する



## ビジネスの連携性強化

Red Hat はお客様組織の各種チームと連携し、オープンなプロセスに関する知識の共有と組織全体にわたるチーム間の連携強化を図ります。そして、Red Hat OpenShift® を使用してビジネスレジリエンスを獲得するために必要な一貫した先進的手法の習得を支援することで、お客様が描くコンテナ活用の目標からイノベーションを導けるようお手伝いします。



### IT 関連の成果の例：

- アプリケーションの更新速度の向上
- アプリケーションのデプロイの高速化
- 迅速な障害復旧
- 精度の向上



### ビジネス上の成果の例：

- 新機能や新サービスの市場投入時間を短縮
- 製品やサービスの品質が向上
- 運用コストと資本コストの低減
- 関連性と競争力の向上



## アプリケーション開発

市場の要求により、アプリケーション開発チームは迅速に、反復的な手法で、継続的に、信頼性の高い仕事をコラボレーティブに行うことを求められています。Red Hat サービスは、DevOps を体験してアジャイルな働き方を習得するために必要なプロセス変更をお客様のチームと連携してサポートし、お客様の成功を加速させ、コンテナへの投資対効果を最大化します。また、アプリケーションのオンボーディング・スペシャリストのコアチームが、お客様のアプリケーション・ポートフォリオ全体にわたる大規模なコンテナ導入をスムーズに実施できるようサポートします。



## リリースエンジニアリング

信頼性の高いソフトウェアのサプライチェーンでは、ソフトウェア提供までの一連のプロセスとして、構築、テスト、ポリシーの検証、セキュリティチェック、コードのデプロイといった工程が含まれます。その目的は、完全な信頼を生み出し、ヒューマンエラーを減らし、自動化によりソフトウェアのデプロイ結果に一貫性と再現性をもたらすことです。このアプローチは、継続的インテグレーション / 継続的デリバリー (CI/CD) のプロセスを実践していくためには欠かすことができません。

Red Hat サービスはお客様のチームと協力して、テスト、ポリシー検証、セキュリティレビューの自動化や、発生したボトルネックを速やかに特定するためのメトリクスを用いて、信頼性の高いソフトウェアのサプライチェーンを構築し、最適化します。このアプローチは、多くの組織に次のようなメリットを提供します。

- 本番環境に移行されるソフトウェアの品質に対する信頼
- デプロイされたソフトウェアが期待に沿ったものであるという自信
- 社内ポリシーの効果とセキュリティ検証の重要性の増加
- 変更の失敗率を低下させ、デプロイ頻度を向上
- 変更までのリードタイムと、失敗からの復旧時間を短縮
- 組織全体で標準化された開発者エクスペリエンスを提供
- 独立した検証可能な監査証跡

**Red Hat サービスはビジネス・レジリエンシーの目標を念頭に置きつつお客様のチームと協力してパイプラインを維持、拡張し、ソフトウェア提供の効率を継続的に向上させていきます。**



## インフラストラクチャ

コンテナを大規模にデプロイして運用するには、インフラストラクチャ、管理ツール、運用方法を連係させる必要があります。Red Hat サービス・ジャーニー: Container Adoption において、Red Hat サービスはお客様と協力して本稼働用のコンテナ・プラットフォームの構築と運用体制の確立を行います。構築されるプラットフォームは、自動化、セキュリティ、レポート、レジリエンシー、ガバナンスを向上する迅速なリリースにより強化されます。

# Red Hat サービスの利用を始める

Red Hat サービス・ジャーニー: Container Adoption は、お客様のコンテナ導入とスケーリングを成功させるためのロードマップを提供します。

プログラムをアジャイル方式で段階的に構築していく間、Red Hat サービスはコンテナに携わるチームの教育や調整から、組織内におけるコンテナ使用の拡大、そして最終的には使用規模の自律的な成長を促す基盤作りまで、コンテナ導入のすべての段階でお客様をサポートします。

## デジタルリーダーシップのコンサルティング、トレーニング、およびサポート

### ディスカバリー

目標の設定、スキルギャップの特定、および測定可能な結果の選別を行うための包括的な戦略の決定

### 高速化

市場の動向にすばやく対応するため、小規模チームが設計の強化に必要な知識やスキルを習得

### 試験運用

特定のチームが管理する実用最小限のコンテナプラットフォーム上で、実務に準じた本番ワークロードを実行

### 最適化

インフラストラクチャとアプリケーションの情報計測でリーダー層による DevOps 手法の受け入れを促進し、戦略構築に役立つ情報を提供

### 準備

繰り返し使用できるオンボーディングプロセスを導入し、新しいアプリケーションを強化されたプラットフォームに移行

### 自律

文化、プロセス、テクノロジーの変化が組織に浸透し継続的な改善を推進

### 拡大

分散した開発チームが標準化されたアプローチでアプリケーションの大規模なオンボーディングを主導



Red Hat サービス・ジャーニー：Container Adoption では、お客様がコンテナとコンテナの柔軟性に関する理解を深められるよう、Red Hat サービスのエキスパートが支援します。Red Hat サービスは、コンテナ導入に焦点を当てた統合デジタル・トランスフォーメーション戦略の検討、確立、拡大に取り組むお客様をサポートします。

**Red Hat サービスをご利用の際、お客様のチームは Red Hat エキスパートと連携しながら、以下のことに取り組みます。**



#### 目標、解決策へのアプローチ、および以下の要素に関する次のステップについて協議

- **特定**：課題、潜在的な問題、実行可能な技術的アプローチ、参加の必要がある関係者、望ましい成果を特定
- **概要作成**：現在の状態、目標とする状態、変化するための機会の概要を作成
- **評価**：お客様チームの能力、スキル、プロセスを評価



#### 下記の実現を目的としたインテリジェントな計画を策定

- **分析**：現在のアーキテクチャの状態と、移行に向けて組織で実践すべき手法を分析
- **戦略**：モバイルエンタープライズを実現するための、人、プロセス、テクノロジーを網羅する戦略
- **アーキテクチャ**：ターゲット環境に対応したアーキテクチャを定義
- **イネーブルメント**：チーム全体の強化戦略



#### Red Hat のエキスパートと連携し、ガイドを受けながら下記を実現

- **確立**：コラボレーション文化の構築、役割の特定、新しいスキルの育成、イノベーションの促進のための戦略を確立
- **適応**：コンテナ・プラットフォームのメリットを最大限に提供するため、クラウドネイティブな新サービスを構築し、既存のアプリケーションを適応
- **提供**：ビジネス戦略をサポートするワークロードを効率的にデプロイ、管理、スケーリングするための、より安全で回復力のある新しい環境と手法を提供
- **認定**：優れたパフォーマンスを発揮するチームにおける認定取得を支援



# 変革への一歩を踏み出す

Red Hat のエキスパートは、Red Hat および認定パートナーの製品、対象となるトレーニング、豊富な経験に基づいたカスタム・ソリューションの導入を通じて、お客様がコンテナ活用により短期的な成功を収めるだけでなく、未来のチャンスにも備えられるよう支援します。

事前に定義されたツール、フレームワーク、ブループリントを使用することで、プロジェクトを素早く開始し、ソリューションを組織全体へ展開できます。



## どのようにお手伝いできるか、まずはご相談ください

Red Hat のエキスパートがお客様のチームのために、無料の個別セッションを提供します。セッションではお客様の組織の目標を確認し、ビジネス上の課題を特定して、実行可能なソリューションをご提案します。

[» Red Hat に問い合わせでディスカバリー・セッションを予約する](#)



## Red Hat ラーニングサブスクリプションの無料トライアルを利用する

包括的な Red Hat OpenShift カリキュラムへの無制限アクセスを活用して、スキルギャップの解消とビジネス課題の解決を図りましょう。

[» 詳細はこちら](#)



## Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、新規および既存 IT アプリケーションの統合、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、Red Hat が提供する業界トップレベルのオペレーティングシステムへの標準化、複雑な環境の自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。受賞歴のあるサポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザーです。クラウドプロバイダー、システムインテグレーター、アプリケーションベンダー、お客様、オープンソース・コミュニティの戦略的パートナーとして、Red Hat はデジタル化が進む将来に備える企業を支援します。

Copyright © 2020 Red Hat, Inc. Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, Red Hat ロゴ、および OpenShift は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. またはその子会社の登録商標です。Linux® は、米国およびその他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。